

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 6 月 25 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

「過去の相場に費やした日柄は今後の相場に強く影響する」これが対等数値の考え方の原点であるわけです。

引き続き対等数値のパターンについてご説明します。先週は、**前回の 1 波動と今回の 1 波動が対等**になったケースと、**前回の 2 波動の合計と今回の 2 波動の合計が対等**になったケースについてご説明しました。(6月18日号のレポート参照)

では、2261 明治乳業のチャートをご覧ください。これは**前回の 1 波動と今回の 3 波動の合計が対等**になったケースです。つまり、昨年 10 月高値 429 円から今年 2 月安値 261 円までの日柄は 16 週、その 2 月安値から 5 月高値 395 円までの日柄は 17 週。誤差が 1 週ありますが、これは高値から安値までの 16 週という日柄が影響した為に、今度はその安値から 17 週目がピークになったと考えられます。

次は、4911 資生堂のチャートをご覧ください、これは**前回の 2 波動の合計と今回の 1 波動が対等**になったケースです。(誤差 2 週) 多少の誤差は出るものの対等数値にはいくつものパターンがあることがご理解いただけると思います。

次回に続きます

(無料テレフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552



Alpha Chart 社